

住居環境とマラリア感染リスク： ラオス中南部少数民族地域における事例研究



蔣 宏偉 氏(総合地球環境学研究所)

日時: **2013年6月28日(金)16時より**

場所: 京都大学 総合研究2号館4階会議室(AA447)



地域の風土病は地域住民の生活習慣と密接に関係している。ある意味で言えば、「生活習慣病」ともいえる。本報告では、地域住民マラリア感染リスクとその住居環境について考えていきたい— (発表要旨より)



参加費・事前登録は不要です。奮ってご参加下さい。
また、会后には懇親会を予定しております。

<お問い合わせ先>

大出亜矢子 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
oide@asafas.kyoto-u.ac.jp

柳澤雅之 京都大学地域研究統合情報センター
masa@cias.kyoto-u.ac.jp

マラリア検査を受けに来た子供と保護者達。村の一角でマラリア・ステーションのスタッフはRapid test の採血を行っている。